

南としよかん子どもフェスティバル



↑親子連れでにぎわう
「南としよかん子どもフェスティバル」

…詳細は2面

第196号の主な記事

- 1面 写真・南としよかん子どもフェスティバル、
読書生活
- 2面 南としよかん子どもフェスティバル、
あかちゃんタイムのお知らせ、
予約ベスト10
- 3面 レファレンスサービス、調べ方のツボ
- 4面 としよかんめぐり…第2回宇都宮大学附属図書館

→南図書館のキャラクター
「みなみちゃん」は人気者！



としよかん

第196号
平成26年6月1日
宇都宮市立
中央図書館
東図書館
南図書館
上河内図書館
河内図書館

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

読書生活



宇都宮市立築瀬小学校長
設楽 富男

本棚の一番古い本との再会

私事で恐縮ですが、85歳になった母と同居するため、昨年11月に引っ越しをしました。その時、様々な本が乱雑に放り込まれた私の本棚から、何十年ぶりか出てきたのが、赤い布張りの背表紙に金文字で、「少年少女物語百科 ものがたり 十二人の探検家」と書かれた本です。昭和38年4月20日第2刷発行、定価280円との記載があります。私は昭和31年2月生まれなので、小学生のときに買ったものだったのでしょうか。

古い本独特のにおいをかきながら表紙をめくると、荒れ狂う海の中を、コンチキ号と名付けられたいかだに乗って、南米のペルーから南太平洋のポリネシア諸島を目指して進む、ノルウェーの人類学者ヘイエルダールたちの姿を描いた挿絵が載っています。それを見た瞬間、かつて住んでいた古い家の西日が差してくるほの温かい本棚の前で、南太平洋の荒波の音を間近に感じながら、ページをめくった記憶がよみがえってきたのです。

「本との出会いは、自分の人生の歩みを示すものでもある。」
そんなことを感じた、再会でした。



子どもフェスティバルを開催しました!

4月27日(日)
10:00-15:30



赤ちゃんから楽しめる
クラシックコンサート
赤ちゃんや小さい子連れの方で
ホールはほぼ満席でした。



ピアノ演奏は、阿久澤政行
(あくざわ まさゆき) さん。

ゴールデンウィークの前に、毎年開催する「南図書館子どもフェスティバル」。好天にも恵まれ、4千3百人もの親子連れで賑わいました。“伝統文化を体験しよう!遊びや仕事にチャレンジしよう!”をテーマにしたさまざまなイベントに、たくさんの子どもたちが楽しそうに参加してくれました。

おはなし会 スペシャル

今回は「こわい話」。
みんな大好きです。



司書の仕事体験

貸出の手続きって大変だ
けど、楽しい!



種まき体験
親子でアサガオの
種をまきました。
緑のカーテンに
育ちます。



ワイワイチャレンジ

ホールに集まれ!

昔あそび工作、クイズ、
ネイチャークラフト、
エコを学ぶゲームなど、
盛りだくさんでした。



「あかちゃんタイム」がはじまりました

図書館では、乳幼児連れの保護者も、気兼ねなく利用できる「あかちゃんタイム」を実施しますので、図書館を利用する皆様のご理解とご協力をお願いします。

<実施日スケジュール>中央・東・南図書館：第2・第4火曜日(いずれも休館日をのぞきます)

上河内図書館：第3金曜日、河内図書館：第2火曜日

6~7月：中央図書館(6月10日、24日、7月8日、22日)

東図書館(6月24日、7月8日)、南図書館(6月10日、24日、7月8日)

上河内図書館(6月20日、7月18日)、河内図書館(6月10日、7月8日)

<時間> 午前10時30分~午後0時30分です。

※いずれの図書館も、「あかちゃんタイム」の時間内に、0~2歳児向けのおはなし会がありますのでご参加ください。また、図書館は、乳幼児を連れていつでも利用できます。



順位	タイトル	著者名	出版社
1	祈りの幕が下りる時	東野圭吾	講談社
2	村上海賊の娘 上	和田竜	新潮社
3	村上海賊の娘 下	和田竜	新潮社
4	豆の上で眠る	湊かなえ	新潮社
5	海賊とよばれた男 上	百田尚樹	講談社
6	海賊とよばれた男 下	百田尚樹	講談社
7	ホテルローヤル	桜木紫乃	集英社
8	ペテロの葬列	宮部みゆき	集英社
9	女のいない男たち	村上春樹	文藝春秋
10	疾風ロンド	東野圭吾	実業之日本社

予約 ベスト10



平成26年5月19日現在

レファレンスサービス

って何？



皆さんは「図書館＝本を借りる場所」というイメージを持っていませんか。図書館の基本的なサービスのひとつにレファレンスサービスというものがあります。レファレンスサービスとは、生活の中でさまざまな疑問を解決するために、図書館の資料や専門機関の情報を活用して必要な情報の提供や、関連する資料を探すお手伝いをするサービスのことです。

本をお探しのときや調べものをする際は、ぜひお気軽に図書館にお問い合わせください。

◇調べられる内容

1 市内図書館の所蔵調査

『〇〇』という本は市内の図書館にありますか？

◇レファレンスの受付

各図書館の窓口で質問を受け付けている他、電話や文書（郵送・FAX）、メールでも受け付けます。

2 書名・著者名など本の情報調査

『ハリー・ポッター』を書いている作家の名前は？

◇過去の事例の活用

図書館ホームページの中の「地域資料」―レファレンス事例集―では、これまでに受けた質問と回答を紹介していますのでご活用ください。また、下記の『調べ方のツボ』でも調べ方を紹介しています。

3 文献紹介

しもつかれの作り方が載っている本はありませんか？

◇調べられないこと

各種物品の価格調査や宿題の解答、プライバシーに関すること、インターネットによる代行検索や電話番号の調査などは受け付けていません。

4 事実調査

明保野地区の年齢ごとの人口を知りたいのですが…。

調べ方のツボ

実際に図書館で質問を受けた事例を紹介するコーナーです。

ファイル2..

川の近くに水田があるのはどうしてですか。（小学生からの質問です。）



調べ方

稲作や農業についての本を調べたが、参考となる記載はなかった。

川についての本を調べていくと、稲作に川の水が果たす役割について書かれているものがあつた。『生命をささえる、めぐる水』の「川のはたらき」―田んぼの役割と生き物たち―の項目と、『川とくらし』の「水田稲作農業のはじまり（弥生時代）」の項目が参考になった。

回答

川が運ぶ養分を含んだ水を利用して農業が盛んに行われる。

田んぼには森からの無機物や有機物が溶けた水が流れ込み、稲を育てる養分になる。田んぼの土にすむ微生物は、水の中の有機物を無機物に分解して、稲が栄養として使えるようにする。

日本列島の土は酸性が強くて栄養に乏しく、畑では作物を作り続けるのには向いていない。しかし、水田では、水に溶けている栄養分で、毎年、稲を育てることができると。

【参考文献】

『生命をささえる、めぐる水』岸上祐子・嶋田泰子著
(さ・え・ら書房)

『川とくらし』岡崎努著（ポプラ社）

南図書館作成



としよかんめいさ

第2回 宇都宮大学附属図書館

第2回は宇都宮大学附属図書館取材しました。今回、お話を伺ったのは、図書館長補佐の田澤さんと係長の青木さんのお二人です。

3階建てで吹き抜けの図書館。日差しがふり注ぐ開放的なアトリウムでは飲食ができ、憩いの空間になっています。平成14年に放送大学栃木学習センターと合築リニューアルしました。

企画展や公開講座も行っており、学生だけでなく地域の方の生涯学習を支援するために広く開放しています。



開放的なアトリウム



閲覧室



図書館外観

■蔵書の特徴

大学は国際学部、教育学部、工学研究科、農学部があり、専門書を中心に約63万冊の蔵書とともに、教育・研究目標を達成するための多様な利用サービス・情報資源を提供しています。特色として、江戸時代の名主家の古文書など重要な資料を所蔵しています。

学生が選んだ本が並ぶ「学生選書コーナー」が目を引きます。また、小中学校の教科書が閲覧できます。

■利用するには：

一般の方の利用方法ですが、来館時にカウンターで所定の用紙に記入すれば資料を閲覧することができます。資料（本）に限り5冊2週間を借りる場合は別途、利用者登録をします。その際は身分証明書が必要です。

「四季折々、いろいろな植物が花を咲かす緑豊かなキャンパスを散歩しつつ、少し休憩するつもりで立ち寄っていただければ」とお話されていました。訪れた日も深い緑の木々が迎え入れてくれました。自然を感じながらリラックスマして本を読んでみてはいかがでしょう。



お話を伺った
青木係長

DATA

宇都宮大学附属図書館

■所在地 〒321-8505
宇都宮市峰町 350

■連絡先 028-649-5134

■休館日 年末年始・臨時休館日

■開館時間

9:00~20:00 (月~金)

11:00~17:00 (土・日・祝)

■ホームページ

<http://www.lib.utsunomiya-u.ac.jp/> (工学部分館もあります。詳しくはHPへ)

館報としよかん 第196号 編集発行

ホームページ <http://www.lib-utsunomiya.jp/>



中央図書館	明保野町7番57号	〒320-0845	TEL028-636-0231
東図書館	中今泉3丁目5番1号	〒321-0968	TEL028-638-5614
南図書館	雀宮町56番地1	〒321-0121	TEL028-653-7609
上河内図書館	中里町182番地1	〒321-0414	TEL028-674-1123
河内図書館	中岡本町3397番地	〒329-1105	TEL028-673-6782

◆編集後記

前号に引き続き、表紙を飾ったのは元気な子どもたちの姿でした。図書館が本を借りたり返したりするだけの場所ではなく、様々な体験もできる場だということを、実感していただけたことと思います。(南)